



令和 4 年度 施設の評価表

園名：常盤平駅前ナーサリースクール

評価日：令和 5 年3月31日

I.経営の重点に関わること

* 評価について * A…十分達成している B…概ね取り組んでいる C…取り組んでいるが、成果が十分でない

項目	内容	自己評価	課題点・改善案（確認項目参考）
1 保育所・保育指針	・保育所保育指針・全体的な計画は園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて教育、保育のねらい、内容が総合的に展開されるよう編成されている。	A	リーダー会議・ブロック会議・職員会議・HIROKOメソッド・全体の計画・年間指導計画や指導案についての作成をもとに毎月の自己評価、反省を生かして話し合いを行い、次月につなげている。次年度に関しても、継続して実施し、自己評価した部分をクラス内でももっと共有したうえで、自分自身の保育の保見直し、振り返りの機会を増やし、意見交換していく。
	・全体的な計画をより適切なものに改めていくという姿勢を全職員が持っている。	B	
	・指導計画を作成するにあたり、一人ひとりの子どもの発達過程や状況、クラスの実態について職員の共通認識のもとに作成している。	B	
	・子どもの発達状況、月や期の目標、教育、保育の実態について職員間で話し合う機会を設けている。	A	
	・就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を確実に送付し、情報共有を図っている。	A	

II.各領域に関わること

項目	内容	自己評価	課題点・改善案（確認項目参考）
1 施設の保守点検	・施設の保守点検	A	設備点検・消防用設備点検・固定遊具安全点検・防災訓練・不審者訓練・害虫駆除等に取り組んでいる。安全防犯面では、登園降園の個別確認、園内、園外での人数確認、玄関はインターホンでの確認後開錠、日中はプラス、ダブルロックの施錠にて飛び出し防止を強化している。
	・施設の清掃等	B	
	・防災への配慮	A	
	・防犯への配慮	A	
2 子どもの権利の尊重	・子どもの権利について職員全体で理解し、十分配慮している。	A	全国保育士会倫理綱領・児童憲章・個人情報保護マニュアル（プライバシーポリシー）・NG用語虐待マニュアルとそれに基づいた園内研修・個人計画と記録等に取り組んでいる。 クラス会議、ブロック会議、昼礼、職員会議ではお子さんの様子、発達・家庭環境に関する事等を含め、話し合い共通理解している。
	・保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉遣い、身体的虐待をしていない。	A	
	・長期欠席の子どもの状況把握をしている。	A	
	・子どもの様子が気になる事は関係機関に報告している	A	
	・個人情報保護について職員全体で確認し十分配慮している。	A	
3 教育・保育施設並びに保育者の質の向上	・地域の状況を把握し、法人の目指す教育、保育方針を理解し園としての取り組みを職員へ伝えている。	A	保育所保育指針・全体的な計画・経営理念・経営ビジョン・保育目標・保育方針を保護者へ入園時、毎月の園だよりクラスレター、その他折に触れクラスの活動や目標について参観で伝えている。行事後のアンケートや年1回の保護者アンケートでは頂いたご意見に対して、お子さんが健康で楽しく園生活が出来るように真摯に受け止め、改善に努めていきたい。
	・保育所保育指針を理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる。	B	
	・子どもと保護者のおかれた状況を受け止め保護者とのよりよい関係を築き良好に保つための努力をしている。	B	
	・利用者（保護者）の意見を聞き改善に努めている。	A	
4 環境	・保育者は、自身が子どもにとって重要な環境である事を十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている。	A	清掃点検などを行い日々清掃消毒を行いながら6Sに努めている。一人ひとりの成長を促す玩具やそれぞれが好きな遊びが出来るような環境設定に、より考慮していきたい。活動によって個々の人権には配慮して対応できている。
	・各保育室は整理整頓され、雑然としていない。	B	
	・各保育室には、一人ひとりの成長発達を考慮した遊びを準備している。	B	
5 愛着形成	・保育者は一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている。	A	全体の計画・年間指導計画・乳児個人計画等を用い、一人ひとりの人権を尊重しながら計画し実行し保育の見直しをしながら個々との関わりを深めている。
	・子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように援助している。	A	
6 健康・安全	・乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助がおこなわれるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに評価・改善に取り組んでいる。	A	緊急時、災害時対応マニュアル・SIDSチェック・アレルギー対応・保健計画・感染症マニュアルによる研修・健康チェック表・内科・歯科検診報告・遊具点検チェック・緊急時として、業務継続計画の中にある職員体制・緊急時フローチャート・避難訓練・備蓄品管理等での対応を職員間で周知し、日々訓練や自己評価反省振り返りをしながら、取り組んでいる。今後も継続して行う。 園生活に慣れるよう情緒の安定に配慮をし、子どもの生活リズムを理解してもらえるように保護者へ伝えていく。 手洗いうがい指導を年間感染症対策を継続して実施していく。 衣服は外出時と室内時、安静時と活動時の衣服調節をし、動きが制限されないように配慮する。 手洗い、消毒、換気、健康観察、玩具消毒の実施を継続的に行う。 寒さに負けない体づくりをする。
	・アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。	A	
	・子ども一人ひとりの生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスを取っている。	A	
	・SIDSチェックには十分配慮し対応し、睡眠時の記録を取っており、睡眠している時は必ず、保育者が保育室にいる。	A	
	・年2回健康診断（内科検診・歯科検診）を行っている。	B	
	・衛生管理・感染症対策等に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。	A	
	・年齢発達に合わせて、うがいや正しい歯磨き、手洗いの方法を指導している。	B	
	・子どもの健康について保護者との情報を共有している。	A	
	・施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている。	A	
	・緊急時に対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている。	A	
	・子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり安全に配慮して駆動できるよう、計画的に教育・保育を実施している。	B	
	・薬品や洗剤の管理、転倒防止や指詰め防止、避難経路の確保が適切である。	A	
	・栄養士・保育者等は衛生管理への配慮がなされている。	A	
	・警察や消防署、近隣の病院との連携が取れる体制がある。	A	
7幼保小連携	・0.1歳児からの保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している。	B	児童票・児童要録を作成。幼保小連携し情報共有しながら卒園までに育てほしい10の姿の項目を職員間で共有理解し取り組んでいる。
8特別支援	・必要に応じて支援センター等との助言を受けている。	A	松戸市との連携・特別支援児年間計画・面談相談・外部機関と連携を持ちつつ、保護者面談しながらお子さんの健やかな成長を家庭と情報共有しながらお子さんの発達を援助している。
	・子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観・授業参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている。	A	
9保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援	・第三者評価や、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている。	A	保護者アンケート・行事アンケート・子育て支援イベントなどから回答をもらい安心安全の保育の為の改善を活かしていけるよう取り組んでいる。
	・行政や地域で行われている子育て支援施策を理解し取り組み、必要とする家庭を関係機関につなげている。	A	
	・施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している。	A	

考察

今年度も新型コロナウイルス感染症対策をしながらの園運営であった。国や行政からの通達の下、対策をしながらの保育を実施してきた。

出来る限り、お子さんの成長を実際に見ていただくことが出来るように行事の関しては人数制限はしたもののリアルでの開催に努めた。

職員会議や研修では引き続きオンラインを併用しながら、姉妹園の園児とも交流することが出来たりと新たな幅も広がった。

進級時は保護者様からの不安な声に寄り添い説明会を開き、松戸市と連携しながら安心安全の保育、巡回をしてより改善に努めた。保護者アンケートからもそこは理解してもらっていることが確認できた。

衛生面に関しては、今後も継続して6Sを意識し強化していく。来年度も、お子さんの安全第一、日々感染症等でも園として業務継続していく為の計画に基づき運営していく。引き続き保護者様へより良い保育と教育を提供できるように様々な事に挑戦し日々保育の振り返り評価をしながら改善に取り組んでいきたいと思う。